

5月2日（月）

4月20日、公園で遊んでいた時に、大変なけがをした人を見つけて119番通報をして助けた人がこの中にいます。紹介しましょう。

けがをした人を発見し、いっしょに遊んでいた友達の中に、携帯電話を持っている人がいることに思い当たった人が、通報することを提案し、救急隊を呼んだそうです。

（名前を呼んで朝礼台に上がってもらおう）

それでは、インタビューをしながら詳しいことをきいてみましょう。

Q 119番通報をする時、心配だったことはありますか？

A はい。本当に救急車が来てくれるかなと心配でした。

Q 119番通報以外に、したことはありますか？

A 救急車が来たときに、「ここですよ」と合図をしました。

Q けがをしていた人は、どんな様子でしたか？

A 最初はとてもつらそうでしたが、救急車が来た時は、ほっとした様子でした。

Q ほかに、大人の人はいなかったのですか？

A いるにはいましたが、みんなおろおろしていました。

Q それでは、最後に、全校のみんなに一言どうぞ。

A これからも、困っている人に会ったら、今回のようにぜひ力になって助けたいです。

ありがとうございました。大きな拍手を贈りましょう。

さて、この勇敢な人たちは、自分から「ぼくたち、こんないいことをしました！」と学校に言いに来たのではありません。様子を見ていたおうちの人が、「とってもよい行いをした子供がいますよ」と、わざわざ学校に知らせてくださったのです。これも素敵な話です。

人の気持ちは、こうして、よい方向により方向につながっています。

このようなことに会うことはあまりありませんが、何か、困っている人がいたら、手を差し伸べて助けてあげられるといいですね。